

## 令和4年度 市政懇談会 「常磐大学生と笠間を語る」開催議事録

開催日時：令和4年12月12日（月）午後4時30分～午後5時50分

開催場所：常磐大学

出席者：20名

《説明後の意見交換》

- 1 少子化対策について
- 2 若い世代へのアピールについて
- 3 自治体間連携について
- 4 デジタル田園都市構想とDXの推進について
- 5 若い世代へのPRについて
- 6 空き家の利活用について
- 7 出先機関について
- 8 教育のデジタル化について

### 1 少子化対策について

【意見等】

少子化が全国的に深刻な問題となっているが、笠間市でもeチケットによる子育て支援やイベント、情報提供などさまざまな取り組みをしている。少子化対策にあたってどのような考えを重視しているのか。また「笠間市子育て・教育応援プレミアムeチケット」を発行して子育て家庭を支援しているが、こういった金銭面での援助がどのような効果を上げているのか、現状と課題を教えてください。

【回答】

子どもの数をV字回復させるのは不可能。少子化対策は、結婚から出産、子育て、教育、就職までのことを考えなくてはならない。自治体ごとに支援策が異なる現状を変え、全国一律の支援ができるようになるべきだとも思う。また、今のところ笠間市で行っている支援策による、出生数の回復などの成果は出ていない。結婚することの意味、パートナーを持つことの重要性を皆さんで考えていくことも重要だと思う。

## 2 若い世代へのアピールについて

### 【意見等】

笠間市の歴史や笠間稻荷神社などの社寺、笠間焼、菊まつりなどの魅力が、若者に知れ渡っていないように思う。若者に笠間の歴史やポテンシャルを知らせていくにはどうしたらよいと考えているか。

### 【回答】

どの世代の人がどの程度関心を持っているかわからないが、道の駅やスケートパークができたことで、これまでより若い人が訪れることが増えたと思う。女性に喜んでもらえる企画や、小学校低学年以下の子どもが楽しめるような企画を進めることが、若者を呼び込むためには重要。笠間市はそういった観点で取り組みを進めている。

## 3 自治体間連携について

### 【意見等】

近隣の益子町や矢板市など、他の自治体との連携を推進しているとのことだが、具体的にどのような取り組みを進めているのか。また、将来どのような形での自治体間連携を進めていくことを検討しているのか。構想などがあれば教えていただきたい。

### 【回答】

笠間市を含めた水戸市など周辺の9自治体でいばらき県央地域連携中枢都市圏を形成して取り組んでいる。1つの自治体では取り組めないことが、9つの自治体が連携することで、費用の軽減やサービスの向上が見込める。

また、笠間市と栃木県益子町が焼き物を中心としたつながりから日本遺産の認定を受けた。お互いの歴史を学ぶために講座を開催したり、観光ツアーを企画したりしている。

少子高齢化が進む時代に、1つの自治体だけで解決できることは少ないので他自治体との連携は今後も増えていくと思う。自治体との連携だけではなく、企業や大学とも連携することで、自分たちにはない知識や技術を借り、課題を解決していく。

## 4 デジタル田園都市構想とDXの推進について

### 【意見等】

今年9月から福原地区で「デジタル田園都市構想」を開始したということだが、具体的にどのような取り組みなのか。またDXの取り組みの浸透のため、「かさめ〜る」登録を推進しているとのことだが、登録状況を教えていただきたい。その他のDXの取り組みについても教えていただきたい。

#### 【回答】

かさめ〜るは約6,000人が登録している。人口の4割以上に登録していただければ、市民向けに紙媒体での情報提供の必要がなくなると考えている。福原地区は人口減少が著しい地区。そのような地区に住んでいる高齢者にとって、通院や買い物などに課題が出てくる。笠間市立病院ではオンライン診療も始めた。実証実験を行いながら、今回モデル地区となっている福原地区の方が役所に来なくてもすべてのサービスを受けられる環境を成立させたい。いずれは笠間市全体に今回の取り組みを広げていきたい。

## 5 若い世代へのPRについて

#### 【意見等】

笠間市内は古民家やお洒落なカフェが多いが、このような魅力ある笠間市に若い世代から関心を持ってもらうためにどんな取り組みが必要なのか。例えば、豆腐や栗を使ったスイーツ、コロッケやさつま揚げなど片手で食べられるものなど、昔ながらの趣ある雰囲気を利用した「ちょっとずつさまざまなものを堪能できる食べ歩きができる街」を魅力の1つにしてみてもいい。

#### 【回答】

モンブランも5年前は市内で扱っているお店は5~6件しかなかった。市役所から毎年、洋菓子店や和菓子店に声をかけ、お願いしていった結果、モンブランなどの栗を使った菓子を扱うお店が増え、人気が出たので良い方向に進んできたと思う。「いなり寿司」や「モンブラン」の食べ歩きの企画などを今後も続けていく。

## 6 空き家の利活用について

#### 【意見等】

笠間市空家等対策計画において、空き家を利用した「かさちょこHOUSE」を、移住を検討されている方に3~13日の間、短期滞在施設として活用してもらい、笠間の暮らしを体験していただいているとのことだが、「かさちょこHOUSE」ではイベントや地域の人々との交流をどのように行っているのか。

## 【回答】

「かさちょこHOUSE」では、笠間市へ移住することを検討している方向けに体験宿泊サービスを提供している。実際に農業や陶芸などさまざまな体験をして、移住を決めた方も何人かいる。

移住に関しては、全国の自治体が取り組んでいるが、まずは東京のような大都市に元気がないと地方にも活力が生まれない。

空き家に住みたい、買いたいと考えている（空家バンクに登録している）人は300人ほどいるが、空き家を提供してもらえないことがある。空家対策については、笠間市では早くから取り組んでいて、修繕費用などの補助金などを出している。

## 7 出先機関について

### 【意見等】

笠間市役所の出先機関はどのようなものがあるか。

### 【回答】

本庁があって、各支所や図書館、公民館、消防署などがある。そのほかに、市が出資している農業公社や道の駅、栗フアクトリーなどがある。

## 8 教育のデジタル化について

### 【意見等】

教育のデジタル化が進んでいるが、データの紛失などに対する方策はあるか。

### 【回答】

人間のやることをすべてミスなくできると考えないほうが良い。失敗を許さない社会を変えることも必要だと思う。

ミスが起きないように対策をとることは必要。起こりうるミスを想定して対策を検討していきたい。

学校での物理的情報漏洩対策：

- ・市貸与のUSBメモリーにパスワードを設定。校外に持ち出す場合は、校長の許可を得る。
- ・個人パソコンの持ち込み禁止。